

期日	班	資料番号
10/19	1	3

令和元年度 香取市市民事業仕分け

事業名	生活支援体制整備事業
担当部課	福祉健康部高齢者福祉課

香 取 市

事業シート（概要説明書）

予算事業名		生活支援体制整備事業				事業開始年度		H28				
上位施策事業名		介護・介護予防				担当局・部名		福祉健康部				
根拠法令等		介護保険法				担当課・係名		高齢者福祉課高齢者支援班				
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				作成責任者		根本 百合子				
実施の背景		平成26年介護保険法改正により、新たに包括的支援事業が位置付けられた。また高齢化率の上昇と家族や地域のつながりの希薄化もあり、介護保険サービスと地域での支え合いを組み合わせ高齢者を支える体制づくりが必要となった。香取市では平成27年度に研究会を立ち上げ検討開始。平成28年度から生活支援体制推進会議（第1層協議体）の開催となる。										
目的 (何のために)		香取市が目指す地域の姿として「高齢者が住み慣れた地域で最後まで生活していけるよう、介護予防と住民・行政等のみなんで支え合う体制」を作ることを目的とする。										
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民				対象者数（全住民に対する割合）						
						77,536	人	(100	%)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施										
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：社会福祉法人 香取市社会福祉協議会）										
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：)										
事業内容 (手段、手法など)	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：) <input type="checkbox"/> その他（)											
	事業内容											
	①生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築 【市実施】 ②生活支援体制整備推進会議（第1層協議体）の開催 【市実施】 ・地域資源や既存事業の整理 ・資源開発の働きかけ ③生活支援コーディネーターの設置 【香取市社会福祉協議会に業務委託】 当事業では、市内全域を担当する第1層コーディネーターと地区社会福祉協議会毎を担当する第2層コーディネーターからなり、以下の活動をおこなう。 ・地域ニーズと資源の状況の見える化や問題提起等 ・地縁組織等への協力依頼等の働きかけや関係者のネットワークづくり・サービス体制づくり ・香取市各地区まちづくり協議会と連携 ※別紙（委託・指定管理・補助・対象団体シート）の理由により委託先を選定した。											
関連事業 (同一目的事業等)	地域包括ケアシステム構築 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営・在宅医療介護連携推進事業・認知症総合支援事業・生活支援体制整備事業）											
コスト			2019年度（予算）		2018年度（決算見込）		2017年度（決算）		2016年度（決算）			
	事業費合計		9,627千円		8,963千円		4,580千円		82千円			
	事業費内訳 (2018年度分)		生活支援コーディネーター（第1層・第2層）業務委託料 8,817,000 委員謝礼 134,000 消耗品費 5,064 郵便料 6,175									
	人件費	担当正職員	0.4人	2,880千円	0.4人	2,880千円	0.4人	2,840千円	0.4人	2,840千円		
		臨時職員等										
人件費合計		0.4人	2,880千円	0.4人	2,880千円	0.4人	2,840千円	0.4人	2,840千円			
総事業費		12,507千円		11,843千円		7,420千円		2,922千円				
財源内訳	国県支出金		5,559千円		5,176千円		2,679千円		48千円			
			国県支出金の内容		地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）国38.5% 県19.25%							
	地方債											
	その他特財		1千円									
			その他特財の内容		保険者機能強化推進交付金							
一般財源		6,947千円		6,667千円		4,741千円		2,874千円				
財源合計		12,507千円		11,843千円		7,420千円		2,922千円				

事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度
		生活支援体制整備推進会議（第1層）の開催回数		回	3/3	3/3	2/2
		第2層コーディネーター連絡会回数		回	12/12	12/12	6/6
		第2層協議会立ち上げまでのコーディネーター（4人）の対応回数		回	301	172	/
		第2層協議会立ち上げ後のコーディネーター（4人）の対応回数		回	525	0	/
	単位当たりコスト	コーディネーター委託料	/	第2層協議体数	¥	383,348	4,464,000
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	事業開始当初は市民に生活支援体制整備事業の主旨を理解していただくことに努めた。コーディネーター業務においては、社会福祉協議会の特性を活かした活動と、市まちづくり協議会への働きかけを開始した。さらに市民への時間をかけた説明やまちづくり協議会と話し合いを続けた結果、第2層協議体が設立され「介護予防」「居場所づくり」「生活支援サービスづくり」に向けて動き出した。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2018年度	2017年度	2016年度
		第2層協議体を市内全域に立ち上げる		カ所	11/23	0/4	/
		歩いて行ける場所に集いの場を作る・既存のつどいの場の発掘		カ所	9/11	/	/
地区独自の生活支援サービス体制ができる		カ所	1/11	/	/		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	第2層協議体を2020年までに市内全域に23カ所たちあげ、地区特性に合わせた活動を開始することを目標とする。また現在の第2層協議体の活動強化と継続支援を進め、将来の担い手の高齢化を見越し新たな担い手養成を進める。さらにまちづくり協議会との連携や従来からの課題である交通網整備等、当課のみで解決が難しい課題は関係課と調整していく。						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>【近隣自治体での状況】 H30</p> <p>東庄町：第1層協議体開始 H30 第2層協議体開始 未 神崎町：第1層協議体開始 H30 第2層協議体開始 第1層協議体と兼務 多古町：第1層協議体開始 H30 第2層協議体開始 H30</p> <p>※町民への事業理解が難しい。フォーラム等を開催し周知をはかっている。 「従来から町民同士の助け合いがあるため、必要性を感じない。」との町民からの声がある。</p>						
特記事項	第1層協議体構成メンバー：介護施設・ボランティア・ケアマネージャー・シルバー人材センター・民生児童委員社会福祉協議会代表 第2層協議体構成メンバー：地区社会福祉協議会・地区役員・介護福祉施設・高齢者クラブ・住民等代表						

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)					
予算事業名	生活支援体制整備事業		事業開始年度		
団体名	社会福祉法人 香取市社会福祉協議会				
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	H27から研究会をたちあげH28には第1層協議体において事業委託先を検討した。その結果、コーディネーター業務を委託するために以下の条件を備えていることを根拠として社旗福祉協議会を委託先とした。 ①公共性・公益性がある団体である。 ②市全域を網羅した活動をおこなっている。 ③専門職(介護・福祉等)を擁している。 ④市内全域での活動に加え、地区社協活動として、地域に根差した活動をおこなっている。 ⑤事業資源となり得る各種団体(高齢者クラブ等)の事務局である。				
当該事業の団体における収支状況	収入		支出		
	国からの財政支出金	千円	第1層コーディネーター人件費	5,111 千円	
	県からの財政支出金	千円	第1層分事業費(燃料・消耗品等)	879 千円	
	市町村からの財政支出金	9,232 千円	第2層コーディネーター人件費	2,418 千円	
		委託料・指定管理料	9,232 千円	第2層分事業費(燃料・消耗品等)	823 千円
		補助金	千円		千円
		その他	千円		千円
	その他 ()	千円		千円	
総計	9,232 千円	総計	9,231 千円		

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	■設立登記年月日 平成18年5月30日 ■財源 ①会費(一般会員:1世帯800円 賛助会員:1口1,000円 法人会員:1口2,000円) ②寄付金 ③共同募金配分金 ④補助金・受託金(香取市・千葉県社会福祉協議会) ⑤介護報酬 ⑥利用料等収入 ■事業内容 ・社会福祉事業:地区社協活動支援事業・ボランティア活動支援事業・高齢者クラブ連合会事務局業務等 ・公益事業:介護保険事業※別紙										
	資本金		千円	役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金		千円		役員	0	0	16	0	3	0
	出資比率		%		職員	20	1	46	0		
団体全体の収支状況	収入				支出						
	国からの財政支出金		千円	事業費		78,254 千円					
	県からの財政支出金		千円	管理費		11,143 千円					
	市町村からの財政支出金	145,345 千円		人件費		168,674 千円					
		委託料・指定管理料		61,209 千円	その他 (助成金・その他支出)		16,316 千円				
		補助金		32,000 千円	総計		274,387 千円				
	その他(介護保険事業)		52,136 千円								
	その他 (事業収入・会議等)		123,482 千円								
総計		268,827 千円	収支差		▲5,560 千円						
特記事項	負債総額: 44,907千円 資本総額: 310,103千円 利益剰余金(もしくは欠損金): 21,674千円										
財務諸表URL											

01

生活支援体制整備事業

年を重ねてもこの地域に



▲入会地YGM99(ワイワイガヤガヤめざせ99歳)による地域サロン(入会地区民センター)



▲もりもり体操で元気もりもり(大崎区民館)

生活支援体制整備事業とは？

高齢者が、元気なときも、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でいつまでも暮らしていただけるような活動をする事です。

誰が活動するの？

生活支援コーディネーターが、民生委員や地区の役員など、地域の皆さんと相談しながら活動を進めています。
※生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援・介護予防サービスを進める調整役です

どんな活動なの？

高齢者が集まる場所や買物支援など、「地域にあったらいいな」を話し合い、活動につなげています。

地区の活動を紹介

▶香西地区

大崎区民館で「もりもり体操」(高齢者の筋力アップ体操)を週1回行い、介護予防に努めています。

▶小見川中央地区

入会地区民センターで「地域サロン」(高齢者の集会)を月2回行い、閉じこもり予防に努めています。

固 高齢者福祉課

☎(50) 1 2 0 8

社会福祉協議会

☎(54) 4 4 1 0

もりもり体操を山田地区敬老会で周知

市長さんをはじめ、出席者の方に一緒に体験していただきました。

のぼり旗は、既に体操をはじめている地区の旗です。

